

# 研究レポート No.699 岩手県農業研究センター

## りんご新品種に対する摘果剤の効果

### 【1 成果概要】

近年、岩手県内に導入されている「岩手7号(紅いわて)」(以下紅いわて)「大夢」「はるか」「黄香」「もりのかがやき」に対するNAC水和剤(商品名:ミクロデナポン水和剤85)の摘果効果及び効果的な使用方は以下のとおりです。

- (1)「紅いわて」「大夢」「はるか」「黄香」「もりのかがやき」のいずれの品種において、無散布に比べて摘果効果があります。
- (2)「紅いわて」「もりのかがやき」は頂芽中心果の満開2週間後散布の落果率が高めであるため、満開3週間後に散布します。
- (3)「大夢」「黄香」は頂芽中心果の落果率が低めであるため、比較的摘果効果の高い満開2週間後に散布します。
- (4)「はるか」は、NAC水和剤による摘果効果が認められるが、年により過剰落果する恐れがあるため、摘果剤の使用を控えます。

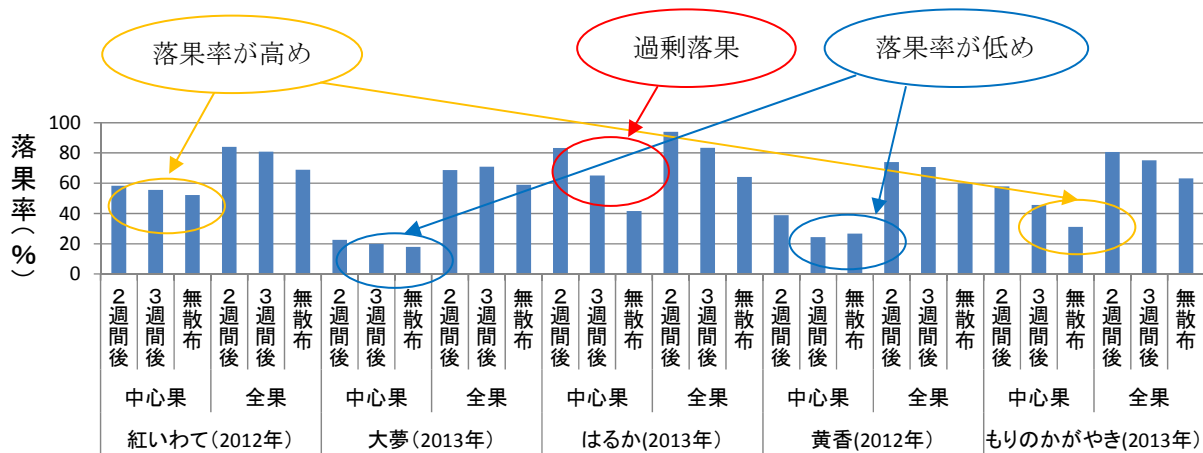


図1 頂芽の摘果効果

#### <効果判定基準>

- (1) 摘果剤効果判定は、無散布区に対する摘果剤散布区の頂芽・腋芽の全果の落果率で判断した
- (2) 摘果剤散布時期は、摘果剤散布区の頂芽中心果の落果程度で判断した
  - ① 過剰落果: 落果率60%以上
  - ② 落果率高め: 落果率40~60%
  - ③ 落果率低め: 落果率40%未満
- (3) 摘果剤試験は3カ年実施し、総合的に判断を行った

### 【2 留意事項】

- (1) 摘果剤を使用する際は人工授粉等結実確保を前提とします。
- (2) 「紅いわて」は、年次によってサビ果の発生が見られる場合があるので、散布時は果実表面が乾きにくいような気象条件下での散布を控えてください。

### 【3 適応対象】

- (1) 適用地帯又は対象者等  
農業改良普及センターなど指導機関
- (2) 期待する活用効果  
新品種の摘果剤利用による摘果作業の省力化が期待されます。